

- 【試合方法】**
- 試合時間は、試合開始から1時間20分（低学年は1時間）を過ぎたら新しいイニングに入らず、均等回の得点で勝敗を決する。勝ち逃げ禁止ルールは適用しない。
ただし決勝戦は20分延長限とする。
雨または日没の場合、4回（低学年は3回）終了して成立。不成立の場合は再試合。
 - 試合は5回（低学年は5回）までとする。同点の場合はタイブレーク方式を行う。
タイブレーク方式は最大2イニング（低学年は1イニング）まで、勝敗が決しない場合は抽選によって決定。
ただし決勝は勝敗が決するまで、タイブレーク方式を行う。
『タイブレーク方式』競技規則で無死・一塁の状態で行う。走者は前回の最終打者を一塁に、二塁は前の打者とする。
 - 4回（低学年は3回）以降も点差にて決勝戦を含めコールドゲームとする。
また、2点以上差が出て試合は、選手の健康管理を考えて試合をコールドゲームとする。
 - 投手の登板制限を以下に定める。
《投球上限》 1日あたり中学：100球、学童高学年：70球、学童低学年：60球
《投手投球数》 同投手毎に1日の投球回数以内とし、同投球回に達した場合は当該打者が打撃完了する迄投球が出来る。
《投球制限》 まだ一度投手を退場手どった場合、投球上限数に達していないでも再登板出来ない。
 - 選手は30分前に集合し、監督はメンバー表を運び提出のこと。
試合中は、バッター・ラフター・コーチャーボックスは必ずヘルメット着用のこと。
捕手は防護用ヘルメット、マスク・ストローカード付・ファルカップを着用すること。
また、六義公園運動場での試合実施の際は、A面左翼手・B面右翼手もヘルメット着用、
攻守交代時の外野手によるキャッチボール等で備練習を禁止する。
選手の背番号は0～9番までとし主将は10番とする。監督は30番、コーチは28・29番としそれ以外は認めない。
 - ユニフォームと帽子は全員が同色・同形、同色ズボン、ストッキングとアンダーシャツは全員が同色であること。
選手・監督・コーチと共にパンツの縫上げスタイルを原則とし、ロングパンツ（裾にゴムの無いもの）やストレートパンツの着用は認めない。
 - 試合上の抗議権は、監督と当事者の1名とする。
 - ベンチ内に各チームで登録している監督・コーチ、責任者・スコアラー、給水係保護者（2名）の計8名と選手に限る。
なお、指導者のユニフォーム着用は監督・コーチの3名以内、責任者・スコアラーはチームの帽子を着用すること。
 - 低学年の部では、チームのユニホーム着用の監督・コーチに限り、コーチャーボックスに入ることを認める。
 - 後半少年野球場で行われる低学年部で、金網フェンスの白線に上部に直接当たったフェア打球は本塁打とする。
 - 低学年の部で、攻撃が1イニングに10点目を超えた場合、アウトカウントにかかわらず攻守交代とする。
 - 試合中、選手の健康管理を考えて担当審判員、または大会本部の判断で給水タイムをとる場合がある。
この場合、給水を要する時間は試合時間に含めない。

- 【出場失格】**
- 開会式に無断で不参加の場合。
 - チーム編成に不正行為があった場合。
 - 試合時間に遅れた場合。

【注意事項】

【新型コロナウィルス対策に関する特別注意事項】

令和3年

第46回文京区少年軟式野球・夏季大会

【期日】

6月 6日 (日) • 12日 (土) • 13日 (日) • 20日 (日)
6月26日 (土) • 27日 (日)
7月 3日 (土) • 4日 (日) • 11日 (日) • 17日 (土)
7月18日 (日) • 25日 (日)

	6月6日 (日)	6月12日 (土)	6月13日 (日)	6月20日 (日)	6月26日 (土)	6月27日 (日)	7月3日 (日)	7月4日 (日)	7月11日 (日)	7月17日 (土)	7月18日 (日)	7月25日 (日)
六義	○		○	○		○		○	○	○	○	
後楽	○	○	○	○	○	○		○	○		○	
目白台							○					



☆主催／文京区少年軟式野球連盟

☆後援／文京区

東京小石川ロータリークラブ

若獅子クラブ

東京新聞・東京中日スポーツ

ナガセケンコー株式会社

東京ケーブルネットワーク株式会社